

調査結果の概要

I 発育状態

1 体格の平均値

平成 28 年度の幼稚園、小学校、中学校及び高等学校における幼児、児童及び生徒の身長及び体重（平均値。以下同じ。）を年齢別、男女別に見ると次のとおりである。

単位：cm、kg

区 分		男 子		女 子	
		身長	体重	身長	体重
幼稚園	5歳	110.4	18.9	109.1	18.3
	6歳	116.4	21.2	115.3	20.6
小学校	7歳	122.2	23.7	120.9	23.3
	8歳	128.0	27.3	127.2	26.1
	9歳	133.2	29.9	132.9	29.4
	10歳	138.3	33.1	139.7	33.4
	11歳	144.9	38.0	146.4	38.2
中学校	12歳	152.3	43.2	151.4	43.0
	13歳	159.2	47.7	154.8	46.4
	14歳	165.0	53.0	156.5	49.8
高等学校	15歳	168.4	58.0	157.1	51.6
	16歳	170.0	60.2	157.7	51.8
	17歳	170.6	61.9	157.7	52.6

(1) 身長（表 1、統計表第 2 表）

① 男子

- ・前年度と比べると、8 歳、11 歳、13 歳及び 16 歳で同値、6 歳、7 歳、14 歳及び 15 歳で増加している。

- ・全国平均値と比べると、5 歳で同値、15 歳及び 16 歳で上回っている。

② 女子

- ・前年度と比べると、5 歳、6 歳及び 12 歳で同値、8 歳から 10 歳及び 14 歳から 16 歳で増加している。

- ・全国平均値と比べると、8 歳及び 13 歳から 15 歳で同値、16 歳で上回っている。

表 1 年齢別 身長の平均値

単位：cm

区 分		男 子			女 子		
		愛知県		全国	愛知県		全国
		平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度
幼稚園	5歳	110.4	110.5	110.4	109.1	109.1	109.4
	6歳	116.4	116.2	116.5	115.3	115.3	115.6
小学校	7歳	122.2	122.1	122.5	120.9	121.0	121.5
	8歳	128.0	128.0	128.1	127.2	127.1	127.2
	9歳	133.2	133.3	133.6	132.9	132.6	133.4
	10歳	138.3	138.6	138.8	139.7	139.2	140.2
	11歳	144.9	144.9	145.2	146.4	146.5	146.8
中学校	12歳	152.3	152.6	152.7	151.4	151.4	151.9
	13歳	159.2	159.2	159.9	154.8	154.9	154.8
	14歳	165.0	164.8	165.2	156.5	156.1	156.5
高等学校	15歳	168.4	168.1	168.3	157.1	157.0	157.1
	16歳	170.0	170.0	169.9	157.7	157.6	157.5
	17歳	170.6	170.9	170.7	157.7	158.0	157.8

(2) 体重 (表2、統計表第2表)

① 男子

- ・前年度と比べると、5歳から8歳、11歳、12歳、16歳及び17歳で増加している。
- ・全国平均値と比べると、5歳で同値、8歳で上回っている。

② 女子

- ・前年度と比べると、5歳で同値、6歳から10歳、12歳、及び14歳から16歳で増加している。
- ・全国平均値と比べると、全ての年齢で下回っている。

表2 年齢別 体重の平均値

単位：kg

区 分		男 子			女 子		
		愛知県		全国	愛知県		全国
		平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度
幼稚園	5歳	18.9	18.8	18.9	18.3	18.3	18.5
	6歳	21.2	20.9	21.4	20.6	20.5	20.9
小学校	7歳	23.7	23.5	24.0	23.3	23.1	23.5
	8歳	27.3	26.6	27.2	26.1	25.9	26.4
	9歳	29.9	30.4	30.6	29.4	28.9	29.8
	10歳	33.1	33.5	34.0	33.4	33.1	34.0
	11歳	38.0	37.5	38.4	38.2	38.4	39.0
中学校	12歳	43.2	43.1	44.0	43.0	42.7	43.7
	13歳	47.7	48.5	48.8	46.4	46.8	47.2
	14歳	53.0	53.5	53.9	49.8	49.2	50.0
高等学校	15歳	58.0	58.6	58.7	51.6	50.6	51.7
	16歳	60.2	59.9	60.5	51.8	51.7	52.6
	17歳	61.9	61.2	62.5	52.6	52.7	52.9

(3) 男女の比較 (表3、図1、統計表第2表)

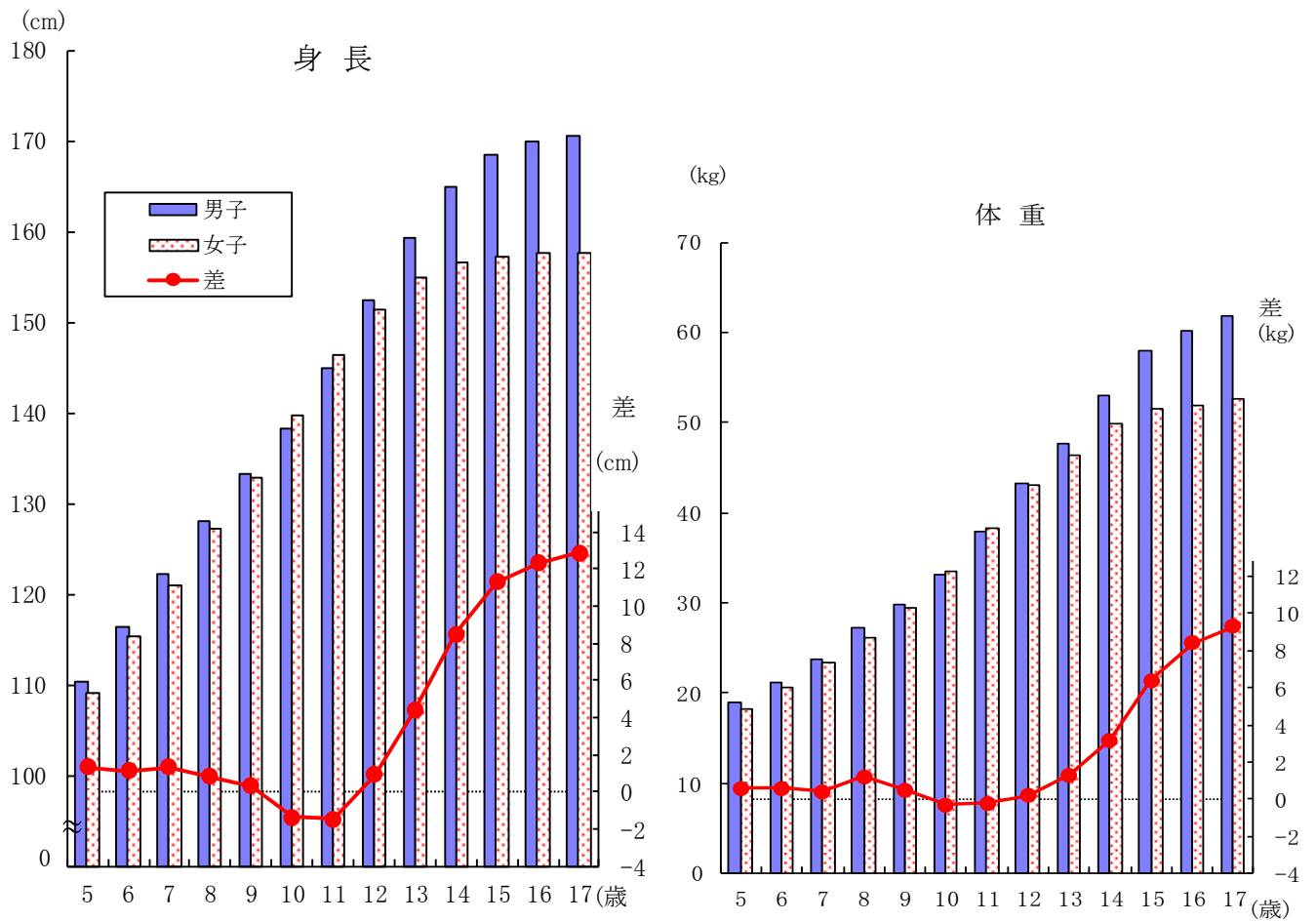
男子と女子を比較すると、身長・体重とも12歳までは大きな差はないが、13歳を過ぎると、男子が女子を大きく上回り、17歳でその差は最も大きくなっている。(身長差12.9cm、体重差9.3kg)

表3 身長・体重の年齢別平均値

単位：cm、kg

区分		男 子				女 子				男女差	
		身長	年齢間差	体重	年齢間差	身長	年齢間差	体重	年齢間差	身長	体重
幼稚園	5歳	110.4	—	18.9	—	109.1	—	18.3	—	1.3	0.6
	6歳	116.4	6.0	21.2	2.3	115.3	6.2	20.6	2.3	1.1	0.6
小学校	7歳	122.2	5.8	23.7	2.5	120.9	5.6	23.3	2.7	1.3	0.4
	8歳	128.0	5.8	27.3	3.6	127.2	6.3	26.1	2.8	0.8	1.2
	9歳	133.2	5.2	29.9	2.6	132.9	5.7	29.4	3.3	0.3	0.5
	10歳	138.3	5.1	33.1	3.2	139.7	6.8	33.4	4.0	△1.4	△0.3
	11歳	144.9	6.6	38.0	4.9	146.4	6.7	38.2	4.8	△1.5	△0.2
中学校	12歳	152.3	7.4	43.2	5.2	151.4	5.0	43.0	4.8	0.9	0.2
	13歳	159.2	6.9	47.7	4.5	154.8	3.4	46.4	3.4	4.4	1.3
	14歳	165.0	5.8	53.0	5.3	156.5	1.7	49.8	3.4	8.5	3.2
高等学校	15歳	168.4	3.4	58.0	5.0	157.1	0.6	51.6	1.8	11.3	6.4
	16歳	170.0	1.6	60.2	2.2	157.7	0.6	51.8	0.2	12.3	8.4
	17歳	170.6	0.6	61.9	1.7	157.7	0.0	52.6	0.8	12.9	9.3

図1 年齢別・男女別の平均値



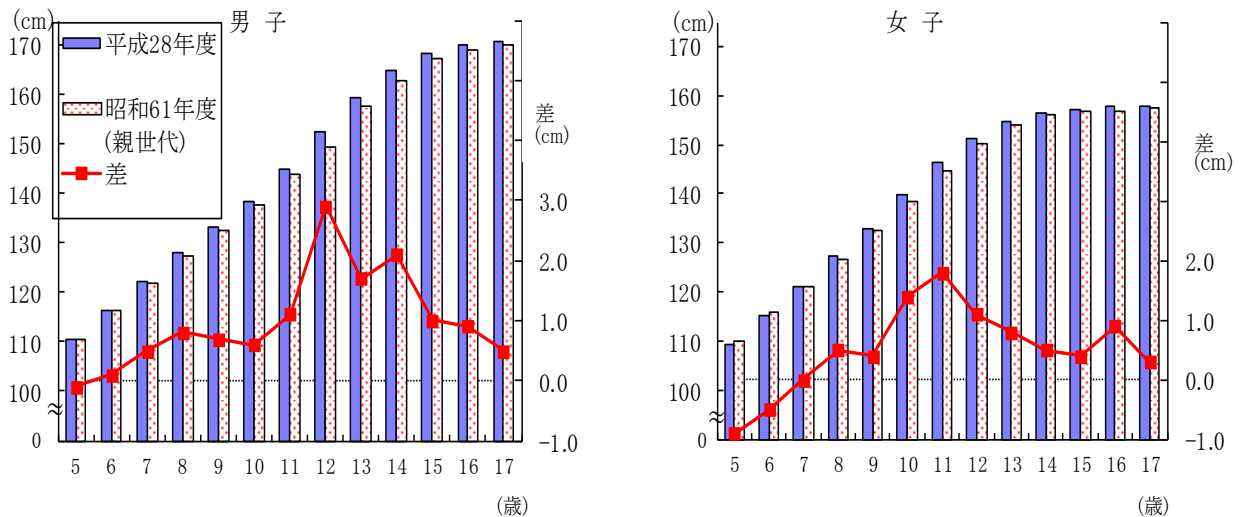
注：図1中の差は、男子から女子を引いたものである。

2 30年前（親世代）との体格の比較

(1) 身長・体重の比較（図2、図3、統計表第4表）

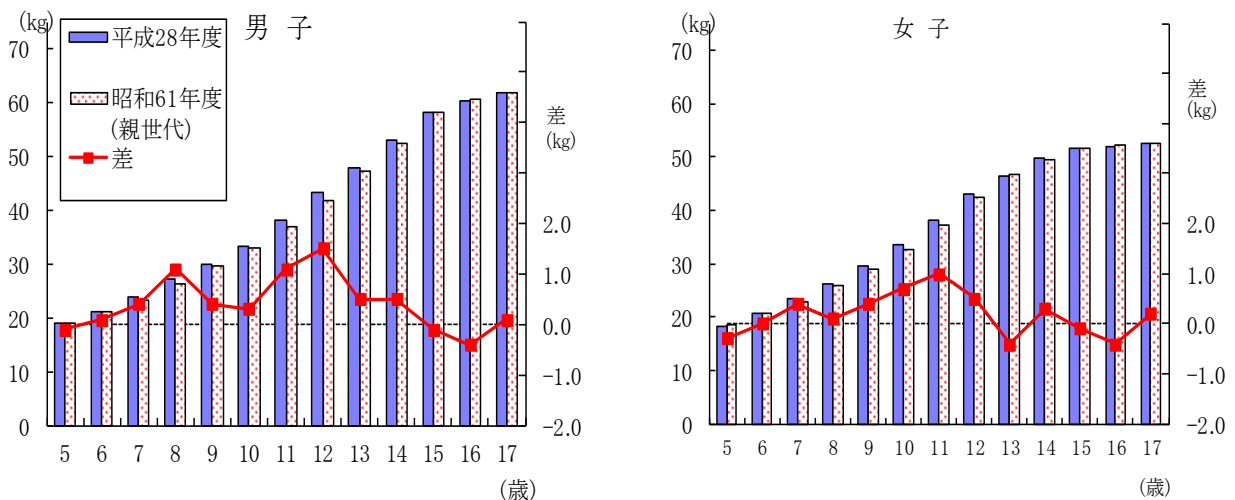
平成28年度の平均値を30年前の昭和61年度（親世代）と比較すると、最も差がある年齢は、身長は、男子では12歳で2.9cm、女子では11歳で1.8cmそれぞれ高く、体重は、男子では12歳で1.5kg、女子では11歳で1.0kgそれぞれ重くなっている。

図2 身長の平均値 30年前（親世代）との比較



注：図2中の差は、平成28年度から昭和61年度を引いたものである。図3について同じ。

図3 体重の平均値 30年前（親世代）との比較



3 17歳の年間発育量と30年前（親世代）との比較

(1) 身長（図4、表4）

17歳（平成10年度生まれ）の5歳時からの年間発育量をみると、男子は11歳時に、女子は9歳時に最大となっており、最大発育量を示す年齢は、男子に比べて女子が2歳早くなっている。

30年前調査（親世代）の17歳（昭和43年度生まれ）と比較すると、男子は発育量が最大となる時期は親の世代の12歳時より1歳早くなっており、年間発育量は6歳、7歳、8歳、10歳、11歳及び15歳の各年齢で親の世代を上回っている。女子は発育量が最大となる時期は親の世代の10歳より1歳早くなっており、5歳、7歳、9歳及び12歳の各年齢で親の世代を上回っている。

図4 平成10年度生まれと昭和43年度生まれ（親世代）の者の年間発育量の比較（身長）

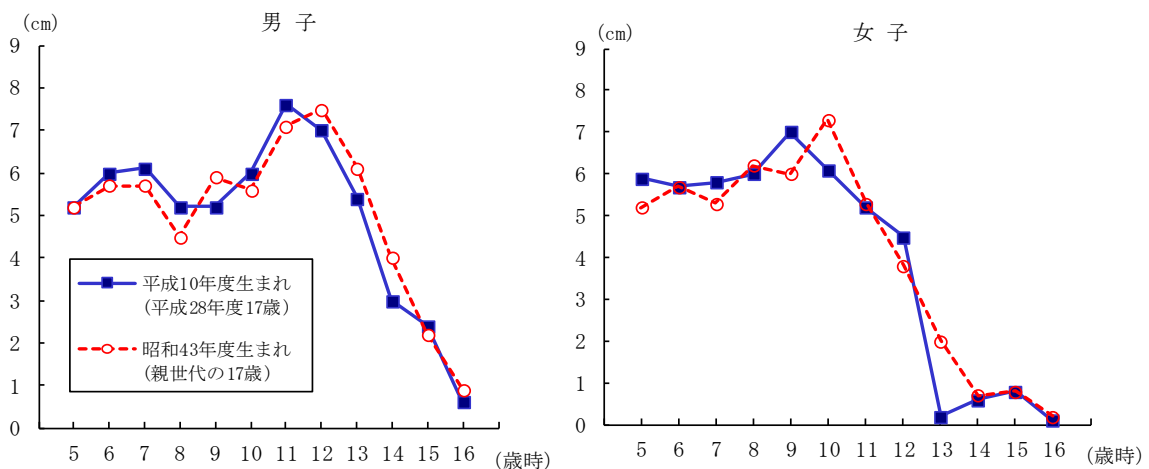


表4 平成10年度生まれと昭和43年度生まれ（親世代）の者の年間発育量の比較（身長）

単位：cm

区分	年齢	男 子					女 子				
		平成10年度生まれ (平成28年度17歳)	(A)年間 発育量	昭和43年度 生まれ (親世代の17歳)	(B)年間 発育量	(差) (A)-(B)	平成10年度 生まれ (平成28年度17歳)	(A)年間 発育量	昭和43年度 生まれ (親世代の17歳)	(B)年間 発育量	(差) (A)-(B)
幼稚園	5歳時	110.9	5.2	109.7	5.2	0.0	109.8	5.9	108.9	5.2	0.7
小学校	6歳時	116.1	6.0	114.9	5.7	0.3	115.7	5.7	114.1	5.7	0.0
	7歳時	122.1	6.1	120.6	5.7	0.4	121.4	5.8	119.8	5.3	0.5
	8歳時	128.2	5.2	126.3	4.5	0.7	127.2	6.0	125.1	6.2	△0.2
	9歳時	133.4	5.2	130.8	5.9	△0.7	133.2	7.0	131.3	6.0	1.0
	10歳時	138.6	6.0	136.7	5.6	0.4	140.2	6.1	137.3	7.3	△1.2
中学校	11歳時	144.6	7.6	142.3	7.1	0.5	146.3	5.2	144.6	5.3	△0.1
	12歳時	152.2	7.0	149.4	7.5	△0.5	151.5	4.5	149.9	3.8	0.7
	13歳時	159.2	5.4	156.9	6.1	△0.7	156.0	0.2	153.7	2.0	△1.8
高等学校	14歳時	164.6	3.0	163.0	4.0	△1.0	156.2	0.6	155.7	0.7	△0.1
	15歳時	167.6	2.4	167.0	2.2	0.2	156.8	0.8	156.4	0.8	0.0
	16歳時	170.0	0.6	169.2	0.9	△0.3	157.6	0.1	157.2	0.2	△0.1
	17歳時	170.6	-	170.1	-	-	157.7	-	157.4	-	-

注：1 年間発育量とは、例えば平成10年度生まれの「5歳時」の身長の年間発育量を算出する場合、平成17年度調査の6歳の者の身長平均値から平成16年度調査の5歳の者の身長平均値を引いたものである。

表5について同じ。

2 網掛けの部分は、最大の年間発育量及び差を示す。表5について同じ。

(2) 体重 (図5、表5)

17歳(平成10年度生まれ)の5歳時からの年間発育量をみると、男子は11歳時に、女子は12歳時に最大となっており、最大発育量を示す年齢は、男子に比べて女子が1歳遅くなっている。

30年前調査(親世代)の17歳(昭和43年度生まれ)と比較すると、男子は発育量が最大となる時期は親の世代の13歳時より2歳早くなっており、5歳、7歳、8歳、10歳、11歳及び16歳の各年齢で親の世代を上回っている。女子は発育量が最大となる時期は親の世代の10歳時より2歳遅くなっており、5歳、7歳、9歳、11歳、12歳及び16歳の各年齢で親の世代を上回っている。

図5 平成10年度生まれと昭和43年度生まれ(親世代)の者の年間発育量の比較(体重)

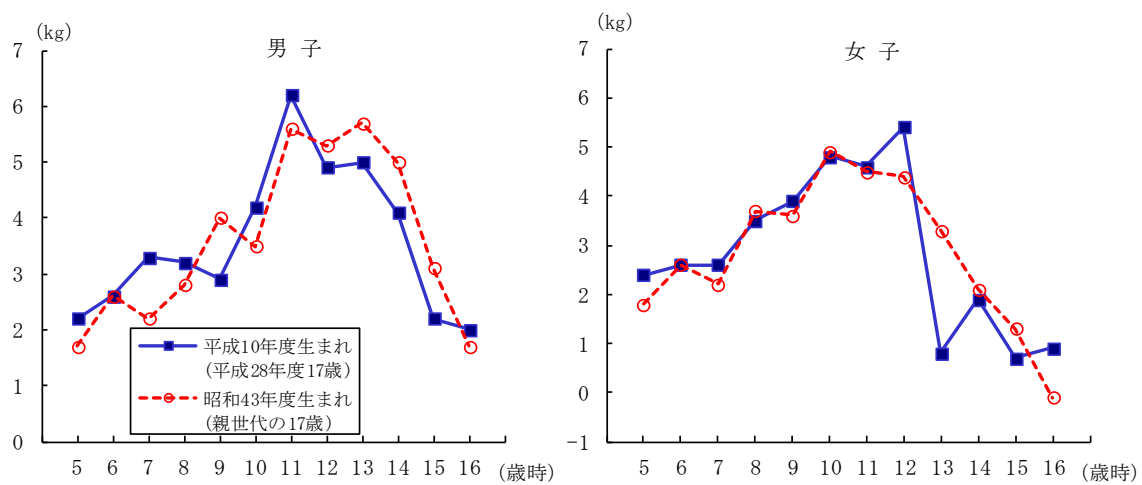


表5 平成10年度生まれと昭和43年度生まれ(親世代)の者の年間発育量の比較(体重)

単位: kg

区分	年齢	男子					女子				
		平成10年度生まれ (平成28年度17歳)	年(A)間 発育量	昭和43年度 生まれ (親世代の 17歳)	年(B)間 発育量	差 (A)-(B)	平成10年度 生まれ (平成28年度 17歳)	年(A)間 発育量	昭和43年度 生まれ (親世代の 17歳)	年(B)間 発育量	差 (A)-(B)
幼稚園	5歳時	19.1	2.2	18.6	1.7	0.5	18.5	2.4	18.1	1.8	0.6
小学校	6歳時	21.3	2.6	20.3	2.6	0.0	20.9	2.6	19.9	2.6	0.0
	7歳時	23.9	3.3	22.9	2.2	1.1	23.5	2.6	22.5	2.2	0.4
	8歳時	27.2	3.2	25.1	2.8	0.4	26.1	3.5	24.7	3.7	△0.2
	9歳時	30.4	2.9	27.9	4.0	△1.1	29.6	3.9	28.4	3.6	0.3
	10歳時	33.3	4.2	31.9	3.5	0.7	33.5	4.8	32.0	4.9	△0.1
	11歳時	37.5	6.2	35.4	5.6	0.6	38.3	4.6	36.9	4.5	0.1
中学校	12歳時	43.7	4.9	41.0	5.3	△0.4	42.9	5.4	41.4	4.4	1.0
	13歳時	48.6	5.0	46.3	5.7	△0.7	48.3	0.8	45.8	3.3	△2.5
	14歳時	53.6	4.1	52.0	5.0	△0.9	49.1	1.9	49.1	2.1	△0.2
高等学校	15歳時	57.7	2.2	57.0	3.1	△0.9	51.0	0.7	51.2	1.3	△0.6
	16歳時	59.9	2.0	60.1	1.7	0.3	51.7	0.9	52.5	△0.1	1.0
	17歳時	61.9	-	61.8	-	-	52.6	-	52.4	-	-

II 健康状態（表6、統計表第5表）

学校種類別に疾病・異常の被患率等をみると、「むし歯（う歯）」の割合がすべての学校種類で高くなっており、「裸眼視力 1.0 未満の者」の被患率が、幼稚園、小学校、中学校で、「鼻・副鼻腔疾患」の被患率が、小学校、中学校で他の疾病に比べ高くなっている。また、中学校では、「歯肉の状態」及び「歯垢の状態」の被患率が高くなっている。

表6 学校種類別 疾病・異常の被患率等

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
60%以上					
50%以上～60%未満			裸眼視力 1.0 未満の者		
40～50		むし歯（う歯）		むし歯（う歯）	
30～40	むし歯（う歯）	裸眼視力 1.0 未満の者	むし歯（う歯）		
20～30	裸眼視力 1.0 未満の者				
10～20		鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患		
1～10	8～10		歯肉の状態 歯垢の状態		
	6～8		歯列・咬合	鼻・副鼻腔疾患 歯肉の状態	
	4～6	歯列・咬合	歯列・咬合 アトピー性皮膚炎 耳疾患	眼の疾病・異常 歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎	歯垢の状態
	2～4	口腔咽喉頭疾患・異常 歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎	ぜん息 口腔咽喉頭疾患・異常 心電図異常 歯垢の状態 歯肉の状態	耳疾患 せき柱・胸郭・四肢の状態 ぜん息 心電図異常 蛋白検出の者	アトピー性皮膚炎 歯列・咬合 蛋白検出の者 心電図異常
	1～2	ぜん息 眼の疾病・異常 その他の皮膚疾患	せき柱・胸郭・四肢の状態 栄養状態 蛋白検出の者		眼の疾病・異常 ぜん息 せき柱・胸郭・四肢の状態
0.1～1	0.5～1	歯肉の状態 蛋白検出の者 言語障害 歯垢の状態	難聴 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常	口腔咽喉頭疾患・異常 栄養状態 顎関節 心臓の疾病・異常 難聴	顎関節 耳疾患 歯・口腔のその他の疾病・異常 心臓の疾病・異常
	0.1～0.5	心臓の疾病・異常 せき柱・胸郭・四肢の状態 鼻・副鼻腔疾患 顎関節 栄養状態	顎関節 言語障害 腎臓疾患 尿糖検出の者	その他の皮膚疾患 腎臓疾患 尿糖検出の者 言語障害	栄養状態 難聴 腎臓疾患 尿糖検出の者 口腔咽喉頭疾患・異常 その他の皮膚疾患
0.1%未満	耳疾患 腎臓疾患			言語障害	

注：1 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、へんとう肥大、咽頭炎、喉頭炎、へんとう炎、音声言語異常のある者等である。

2 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、だ石、癒合歯、要注意乳歯等のある者等である。

3 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。

4 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。

5 高等学校の「裸眼視力 1.0 未満の者」については、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人未満または回答校が1校以下のいずれかに該当するため、統計数値を公表しない。

Ⅲ 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

1 肥満傾向児の出現率（表7）

（1）男子

年齢別にみると、8歳が9.66%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、8歳で上回っている。

（2）女子

年齢別にみると、17歳が9.33%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、11歳及び17歳で上回っている。

2 痩身傾向児の出現率（表7）

（1）男子

年齢別にみると、11歳が4.33%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、7歳及び9歳から17歳で上回っている。

（2）女子

年齢別にみると、13歳が3.74%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、9歳、11歳、13歳及び15歳から17歳で上回っている。

表7 年齢別 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

単位：%

区 分		男子				女子			
		肥満傾向児		痩身傾向児		肥満傾向児		痩身傾向児	
		愛知県	全国	愛知県	全国	愛知県	全国	愛知県	全国
幼稚園	5歳	1.98	2.68	-	0.24	2.20	2.44	0.32	0.44
	6歳	4.20	4.35	0.44	0.45	4.10	4.24	-	0.40
小学校	7歳	5.15	5.74	0.99	0.41	3.92	5.18	0.28	0.64
	8歳	9.66	7.65	1.15	1.16	5.11	6.63	0.76	1.07
	9歳	7.76	9.41	2.54	1.48	5.66	7.17	2.67	1.86
	10歳	6.70	10.01	2.78	2.49	7.42	7.86	2.91	2.99
	11歳	9.61	10.08	4.33	2.94	8.35	8.31	3.47	2.99
中学校	12歳	8.64	10.42	3.75	2.75	7.33	8.57	3.26	4.29
	13歳	6.83	8.28	2.39	2.04	5.62	7.46	3.74	3.47
	14歳	6.10	8.04	1.93	1.84	6.77	7.70	2.32	2.67
高等学校	15歳	9.34	10.95	3.69	3.07	7.77	8.46	2.54	2.30
	16歳	7.94	9.43	2.91	2.25	5.71	7.36	2.42	1.84
	17歳	9.29	10.64	3.61	2.21	9.33	7.95	2.31	1.51

注：肥満（痩身）傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上（-20%以下）の者である。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)